小牧ようてい記念病院 30床増床

来年（2027年）4月1日開設

地鎮祭の様子

増設イメージ

小牧ようてい記念病院では７月３１日、回復期病棟を３０床増床にともなう新棟開設に向け、地鎮祭を執り行いました。
完成は来年２月を予定しており、４月１日開設に向け工事を進めてまいります。

ようてい中央クリニック

木下 拓也　院長 就任

消化器疾患から糖尿病などの生活習慣病まで
内科全般を幅広く診療しています。
お気軽にご相談ください。

内科全般
風邪・発熱等の体調不良

消化器疾患
胃カメラ・大腸カメラ対応

生活習慣病
糖尿病・高血圧 脂質異常症等

健康診断・予防接種

その他、気になる症状や健康に関することなど、どんな小さなことでもご相談ください。

医療法人 ようてい会
【本部】愛知県岩倉市曽野町郷前17番地　TEL0587-66-6655
https://youteikai.com　医療法人ようてい会　検索

求人情報はこちらから

小牧ようてい記念病院

医療法人による「安心」と「おもてなし」 Medical Corporation Youteikai Group

ようてい会だより

医療法人ようてい会 広報誌 | NO.64 2026年10月1日 ご自由にお持ちください

100歳まで住み慣れた地域で暮らすために

ようてい会のリハビリ

歩き続けるために

歩くことは単に移動することではなく「出かける」「好きなことを楽しむ」「地域の中で自分らしく過ごす」といった一つひとつがその人らしい暮らしに繋がっていきます。

退院後、多くの方は自宅での生活に戻られます。しかし、実際に自宅に帰られたのち家族の助けだけで生活を続けていくには、高齢者の場合だと現実的に難しいことが多く様々な問題に直面することがあります。

「在宅に復帰する」とはただ家に帰ることではなく「一人ひとりが大切にしてきた生活に戻ること」を意味しています。

可能な限り住み慣れた場所で健康に生活を続けていくための仕組みとしての「地域包括ケアシステム」において、ようてい会がどのような役割を担っているのかをご紹介します。

回復期リハビリテーション病棟の役割

回復期リハビリテーション病棟では、病気やけがによって障害を受けた患者様が、残された機能を最大限に活かしながら日常生活の自立を目指し、患者様一人ひとりの状態や生活環境に合わせたリハビリテーションを行っています。

退院後に 患者様がどのような場所で、どのような生活を送るのかを具体的にイメージしながらリハビリテーションを行います。退院前には必要に応じて家屋訪問を実施し、自宅環境を確認し、安全に生活できるよう、手すりの設置や福祉用具の活用、場合によっては必要に応じた家屋改修についての提案も行っています。

継続してリハビリテーションが必要な患者様に対しては、通所リハビリテーションや訪問リハビリテーションと連携しています。

「退院したら終わり」ではなく、入院中から退院後の生活までを見据え、患者様が住み慣れた地域で安心して生活を続けられるよう、切れ目のないリハビリテーションと支援を行っています。

介護老人保健施設の役割

介護老人保健施設とは、退院後や身体機能の低下により自宅での生活に不安がある方に対してリハビリを実施し「在宅復帰」を目指していく施設です。

どのような方が入所を検討するのか

◉歩く・立つなどの基本動作が大変になり、自宅内で転ぶことが増えた。
◉老老介護のため、現在の介助量では配偶者の身体的負担が大きい。
◉家族がすぐに駆けつけられる距離におらず独居となるため、生活動作をもう少し安全に出来るようになりたい。

実際の事例

病院での治療を終え、ある程度の歩行能力を獲得した A さん。一方で、「住宅改修にも限界がある。家に帰って、本当に一人で生活できるのだろうか」という不安がご本人だけでなくご家族にもありました。そこで、介護老人保健施設でリハビリを続けながら、在宅復帰を目指すことになりました。初めての外泊後、ご家族様が「リハビリを続けていたおかげで、思ったより家の中を動けていて、もしかしたら家での生活もできるかもしれない」とおっしゃられていました。家に帰るのは難しいかもしれないと感じていたご本人やご家族の不安も少しずつ軽くなり、在宅復帰へのハードルが下がっていきました。

デイケアセンター（通所リハビリテーション）の役割

デイケアセンター（通所リハビリテーション）は家族のサポートを受けながら自宅で生活している方に対して、介護サービスを通じて健康を維持し「その人らしい生活を続けるための手助け」をする役割を担っています。リハビリでは歩行や立位などの日常生活動作の訓練や自宅環境や生活状況に応じた訓練を個別に提供し、ご自宅での生活を長く続けるために必要な体力や動作能力の維持・向上を支援しています。また、他の利用者様との交流を楽しむ機会を作る役割もあり「話す機会が少なくなり不安」と感じている方に対してもサポートしております。

どのような悩みをもっている人がいるのか？

◉なんとか歩けるが、たまにふらついて転びそうになる
◉今後の体力低下が心配
◉家に一人でいることが多く、誰かと交流することも会話することも減った

実際の相談事例：B さん

「歩行器を持って歩くことはできるけど、どうしても長い距離が歩けない。歩くと腰も痛くなってくるし、疲れも出てくる。また、休めば歩けるけど移動に時間がかかるし外に出るのが億劫」という悩みを持っている B さん。リハビリではまず、歩き方や腰の痛みについて様々な評価を行い、近所のスーパーまで歩くということを目標にリハビリを行っていきました。少しずつ歩く距離が長くなり、外に出ることが億劫になっていた気持ちも少しずつ楽しむ気持ちに変化していきました。

生活支援・介護予防に向けた地域への取り組み

ようてい会では介護予防の一環として地域における予防活動にも積極的に取り組んでいます。地域住民の皆様を対象として介護予防講習会や地域サロンなどの活動も行っております。テーマに沿って、医師、リハビリテーションスタッフ、管理栄養士による講演会や運動紹介などを実施しています。

現在、小牧北里地域包括支援センター、小牧西部コミュニティセンター、北名古屋市能田公民館で開催されている「かがやきサロン」ではようてい会の職員が講演会や運動紹介を行っています。また岩倉東部地域包括支援センターが主催する介護予防講習会 (要予約) が 10月15 日に開催されます。

無理なく続けて、元気な明日へ！

1日10分!!1人で簡単リハビリトレーニング!!

ストレッチや筋トレーニングを中心に紹介します

開催日 令和８年10月15日（木）

時 間 午後１時30分から３時

場 所 市民プラザ 多目的ホール（岩倉市）

お気軽にご相談ください

地域のシニアクラブ、自治会･地域サロンなどで、「健康について話を聞きたい」「理学療法士に体操を教えてほしい」などのご要望がございましたら、ようてい会本部までお気軽にご相談 ください。　医師・リハビリテーションスタッフ・管理栄養士など、内容に応じた専門職による講演や健康づくりのお手伝いを検討いたします。

※開催時期・内容・スタッフの勤務状況等により、ご要望にお応えできない場合がございます。
あらかじめご了承ください。

お問い合わせは　☎0587-66-6655